

「ひなた便り」発行にあたって…

新学期が始まって1週間が過ぎましたが、お子さんの様子はいかがでしょう。もう新しい教室、担任に慣れ、生き生きと生活できていますか？

新学期が始まって1週間が過ぎましたが、お子さんの様子はいかがでしょう。もう新しい教室、担任に慣れ、生き生きと生活できていますか？

子供たちみんなが「香焼小学校は楽しい！勉強大好き！」と思って毎日登校できるよう、本校にはそれをサポートする「特別支援教育コーディネーター」がいます。〇〇（たんぼぼ学級）、〇〇（なのはな学級担当）、〇〇（ひまわり学級）、〇〇（通級教室たけのこ担当）の4人です。

今年度も、この「特別支援教育通信」を通して、香焼小学校の保護者の皆さんに、少しでも特別支援教育について情報を発信していけたらと思い、「ひなた便り」を発行していく予定です。ひ（ひまわり）・な（なのはな）・た（たんぼぼ・たけのこ）の頭文字から取ってネーミングしています。これから定期的に発行していきますので読んでいただけると嬉しいです。

特別支援教育って？

以前は、「特殊教育」と言われていましたが、平成19年から「特別支援教育」に変わりました。呼び名だけでなく、考え方が根本から変わっています。特別支援教育とは「特別支援学級だけでなく、通常学級に在籍する生活や学習面で困っている子供に対して、それぞれの教育的ニーズを的確に把握して、適切な教育的支援を行う」ものです。子供たち一人一人の将来のために、今、何が必要なのか、何をするのがベストなのかを学校と家庭だけでなく、福祉、医療などいろいろな方と連携や協力をしながら一緒に考えていくものです。

お子さんは、毎日笑顔で登校していますか？小学校では着席しての学習活動が主であり、集団行動をとらなければならない場面が多くあります。その中で自分の気持ちをコントロールすることや、我慢することを学びながら学級という集団で「社会勉強」をしています。

ただ、全員がうまく生活できるとよいのですが、子供によってはうまく適応できずに困ってしまうこともあります。そんな子供たちの困り感を放っておくと、学校が楽しくなくなり、勉強が嫌いになり、不登校になっていくことも懸念されます。

そのような不適応を防いだり、困り感を軽くしたりするために、香焼小学校では特別支援の体制を整えています。些細なことでも、気になること、心配事がありましたら、ご遠慮なくご連絡ください。担任はもちろん、コーディネーターも含めて対応を進めていきます。

次回は通級指導教室について、ご紹介いたします。